

下呂温泉

下呂は、日本の本州のちょうど真ん中の岐阜県に位置します。町は名古屋駅から電車で 2 時間の距離にあり、名古屋に拠点を置く観光客が日帰り旅行でアクセスしやすくなっています。下呂温泉を最初に称賛したのは、万里集九（1428 年–1498 年？）で、禅僧の彼は下呂温泉を日本の最高の温泉街の 1 つと主張しました。200 年近く後になって、儒学者の林羅山（1583–1657）が同じ主張をし、下呂が広く有名になることにつながりました。

下呂温泉で最も有名なのは「温泉地区」です。ここには温泉リゾート、足湯、土産物店、レストランが立ち並んでいます。多くの観光客が、街中に点在する無料の足湯を試したり、伝統的な旅館に宿泊して、岐阜の料理を楽しんだりすることを目当てに、下呂にやって来ます。温泉の共同浴場は何千年もの間、娯楽として人気を博し、また健康面でも効果があると目されてきました。多くの人々が今でも身体の病気の治癒を願って下呂温泉にやって来ます。

しかし、下呂市は風呂だけではありません。まず、ここには、縄文時代（紀元前 1 万年–紀元前 300 年）の遺物が発掘された峰一合遺跡があります。これらの遺物は、この国の他の場所で発見された古文化財と一緒に、下呂市博物館に展示されています。もう 1 つ訪れる価値のある場所、合掌村は、10 の合掌造りの家屋が目玉の屋外博物館です。合掌とは「祈る手」を意味します。つまり、お祈りをする時の合わせた手の形のように思えるような家の造りにちなむ名前です。来場者は、保存されている家屋を見て、炭火で焼いた鮎（清流のアユ）の串焼きなどの地元の料理を食べ、伝統工房で和紙作りや陶芸などの腕試しをして、合掌村で丸 1 日過ごすことができます。温泉ファンなら、実体験できる展示物が目玉の家族連れにやさしい目的地、温泉博物館で、風呂の裏の歴史や科学について学ぶことができます。自然が好きな人なら、216 もの滝がある自然の美しいスポット、小坂の滝が、下呂中心部から車で 30 分の場所にあります。